

2015年8月25日

東日本旅客鉄道株式会社

## 総合防災訓練の実施について

- JR東日本では、8月30日からの「防災週間」を中心に、総合防災訓練を実施します。
- 本社総合防災訓練では、都心南部を震源とするM7.3の地震を想定し、情報収集等の初動対応訓練を本社、支社及び現業機関が連携して実施します。
- 訓練は以下の内容を中心に実施します。
  - ・ 本社及び各支社等における対策本部の設置・運営訓練
  - ・ 社員及びその家族の安否確認訓練
  - ・ 各現業機関における実動訓練（救助・救命訓練、避難誘導訓練、初期消火訓練等）
- 自治体等と連携した訓練も実施します。

訓練は以下の要領で行います。

### 1 日 時

2015年9月1日（火）を中心とし、本社及び各支社にて設定

### 2 訓練の想定

本社及び東京、横浜、八王子、大宮、千葉（以下、東京圏）の各支社においては、対策本部の設置・運営訓練を行います。訓練は「7時00分に都心南部を震源とするM7.3の地震が発生し、東京圏で全面的に運転中止となり、列車脱線や駅舎一部倒壊により多数の人的被害が生じている」という想定で行います。また、一部駅においては、東京圏の路線が広範囲で長時間にわたり運転中止となる地震発生を想定し、駅に滞留したお客さまの誘導訓練等を行います。

東京圏以外の支社においては、各支社管内での大地震発生を想定した訓練を行います。

### 3 主な訓練内容

#### ① 本社・各支社対策本部の設置・運営訓練

- ・ 発災直後、本社対策本部を高崎支社に設置し、初動対応訓練を行います。
- ・ 本社対策本部に関わる社員は、本社ビルへの非常参集を行います。本社ビルの体制が整った段階で高崎支社に設置した対策本部を本社に引き継ぎます。その後、当日任意に選ばれた社員で情報収集・集約訓練を行います。
- ・ 東京圏各支社対策本部に関わる社員は、各支社ビルに非常参集を行います。体制が整った段階で、支社対策本部を設置し、限られた社員で情報収集及び状況報告等を行います。
- ・ 本社対策本部と支社対策本部との間で、衛星電話等の非常用通信設備をはじめとした多様な手段を活用して、被災状況の情報伝達や救助派遣指示等を行います。

#### ② 安否確認訓練

- ・ 全社員を対象とし、社員及びその家族の安否確認訓練を実施します。

#### ③ 非常参集訓練

- ・ 本社及び東京圏支社の社員が、勤務箇所や最寄り駅等の予め定められた箇所へ非常参集を行います。
- ・ 最寄り駅に非常参集する社員は、駅で開催する実動訓練等に参加します。

#### ④ 救助・救命等の実動訓練

- ・ 駅を中心とした現業機関においては、お客さまの避難誘導、救助救命、初期消火等の実動訓練を実施します。また、一部、自治体等と連携した訓練も実施します。

### 4 主な訓練の実施箇所

各支社において、実動訓練を実施します。詳細は別紙をご参照ください。

## 2015年度総合防災訓練の主な実施箇所

支社	実施箇所	日時	参加数	訓練内容
東京	東京支社管内全般	9月1日(火) 7:00～13:00	約2,000人	都心南部を震源とするM7.3の地震発生を想定し、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練並びに支社対策本部設置・運営訓練において本社・現業機関と連動した情報伝達訓練を実施します。
	東京駅	9月1日(火) 9:45～11:30	約200人	都心南部を震源とするM7.3の地震が発生し、駅構内で火災発生及び施設損壊によりお客さまが負傷されたことを想定し、火災対応として社員及びグループ会社社員合同による初期消火訓練並びに避難誘導訓練を実施します。また、施設損壊による救助・救命訓練を社員と外部機関合同で実施します。
	池袋駅	9月1日(火) 10:00～12:00	約200人	都心南部を震源とするM7.3の地震が発生し、駅構内店舗より火災発生及び改札内で負傷者が発生したことを想定し、社員、グループ会社及び関係協議会等と合同で初期消火訓練、救助・救命訓練(AEDの取扱いを含む。)、煙ハウスによる避難体験並びにハンコ車による高所体験等を消防署の指導により実施します。
横浜	横浜支社管内全般	9月1日(火) 7:00～13:00	約5,000人	都心南部を震源とするM7.3の地震発生を想定し、社員及び家族の安否確認報告訓練、非常参集訓練、対策本部設置・運営訓練並びに本社・現業機関と連動した情報伝達訓練を実施します。
	中原電車区構内	9月1日(火) 9:30～12:30	約200人	都心南部を震源とするM7.3の地震により走行中の列車が脱線し緊急停止、列車内でお客さまが負傷されたことを想定し、川崎市中原区役所、近隣の3つの高校及び東急電鉄等の協力を得て駅と消防署による救助・救命訓練並びに一時滞在場所(仮設)への避難誘導訓練を実施します。
		9月1日(火) 12:50～15:30	約150人	上記避難誘導等の訓練終了後、脱線した車両を載線させると共に、被害にあった設備を復旧させる設備復旧訓練を実施します。
横浜支社～東京支社	9月1日(火) 7:30～13:30	約30人	都心南部を震源とするM7.3の地震発生に伴い、東京支社管内の被害が甚大となり全ての陸上交通及び主要幹線道路の寸断により陸路からの応援ができないことを想定し、提携している船舶会社の船を活用し海上からの社員の応援派遣を行う訓練を実施します。	
八王子	八王子支社管内全般	9月1日(火) 7:00～13:00	約450人	都心南部を震源とするM7.3の地震発生を想定し、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練、対策本部設置・運営訓練及び本社・現業機関と連動した情報伝達訓練を実施します。
	各現業機関	8月30日(日) ～9月5日(土)	約200人	大地震により発生しうる被害を各職場で想定し、対応及び役割分担について議論・再確認を行う机上訓練並びに実動訓練を実施します。
大宮	大宮支社管内全般	9月1日(火) 7:00～13:00	約500人	都心南部を震源とするM7.3の地震発生を想定し、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練、対策本部設置・運営訓練並びに本社・現業機関と連動した情報伝達訓練を実施します。また、災害用衛星通信車載局をさいたま車両センターに移動させ、現地と大宮支社対策本部との情報伝達訓練を実施します。
	さいたま車両センター構内	9月1日(火) 9:30～12:00	約100人	さいたま車両センター構内において、列車が地震で停車し、負傷されたお客さまがいることを想定し、消防署の協力を得て社員・消防署による救助・救命訓練及び列車内のお客さまを降車させる避難誘導訓練等を実施します。
	宇都宮地区 (宇都宮駅・宇都宮運転所構内)	9月1日(火) 9:00～12:00	約100人	震度7の地震により、駅舎の一部が倒壊し火災が発生し停車場間に停車した列車があることを想定し、消防署と連携して、初期消火・通報訓練、救助・救命訓練及び避難誘導訓練等を実施します。
高崎	高崎支社管内全般	9月1日(火) 7:00～11:00	約500人	都心南部を震源とするM7.3の地震を想定し、本社と連動した情報伝達訓練を実施した後、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練、対策本部設置・運営訓練及び現業機関と連動した情報伝達訓練を実施します。また、衛星携帯電話やタブレット端末、WiMAX2+を使用し、NTTと自社回線が一時不通となった場合を想定し、情報伝達訓練を実施します。
	各現業機関	8月30日(日) ～9月5日(土)	約30人	熊谷地区指導センター及び熊谷保線技術センターに現地対策本部を設置する訓練を実施します。また、その他の現業機関では、災害発生時の役割等の確認を実施します。
水戸	水戸支社管内全般	9月1日(火) 7:00～12:00	約300人	福島県沖を震源とする震度6弱の地震により駅舎や線路の被害が発生したことを想定し、72時間以内に最大限の救助・救命活動を実施するために、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練及び対策本部設置・運営訓練等を現業機関、地区及び支社が一体となって実施します。
	土浦、水戸、 いわきの各地区及び 水郡線営業所	9月1日(火) ～9月3日(木)	約240人	支社対策本部と各地区間の情報伝達訓練、各駅から支社対策本部への画像転送訓練及び救助・救命訓練(AEDの取扱いを含む。)を実施します。また、東日本大震災の経験を語る語り部による講話や実際の車両を使いお客さまを降車させる避難誘導訓練及び列車脱線想定した脱線復旧訓練を実施します。
千葉	千葉支社管内全般	9月1日(火) 7:00～13:00	約900人	都心南部を震源とするM7.3の地震発生を想定し、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練及び支社社員を対象に対策本部設置・運営訓練並びに情報伝達訓練を実施します。また、現業機関から衛星携帯電話等を活用し、情報を伝達する訓練を実施します。
	鴨川運輸区 安房鴨川駅	8月28日(金) 10:00～12:30	約20人	駅構内の電留線において、大地震発生で停車した列車から駅社員・乗務員による体が不自由なお客さまの降車補助方法の検討会を鴨川市役所、亀田総合病院と協力して実施します。
仙台	仙台支社管内全般	9月1日(火) 7:00～12:00	約4,000人	宮城県沖を震源とする震度6強の地震が発生し、仙台支社管内で列車が停車及び駅設備に被害が発生したことを想定し、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練、初動対応マニュアルに基づいた訓練並びに対策本部設置・運営訓練を実施します。
盛岡	盛岡支社管内全般	9月1日(火) 7:00～15:00	約480人	岩手県内陸を震源とする震度6強の地震が発生したことを想定し、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練、支社災害対策本部の設置・運営訓練、情報伝達訓練、初期消火訓練並びに支社ビルからの避難誘導訓練等を実施します。
	青森、八戸、盛岡、 北上、一ノ関の 各地区及び釜石線 (営)、気仙沼駅	9月1日(火) 7:00～12:00	約1,000人	駅構内で負傷されたお客さまの救助・救命訓練、初期消火訓練、エレベーターからの救出訓練(盛岡地区)、帰宅困難者の一時滞在施設への避難誘導訓練、脱線復旧訓練(一ノ関地区)並びに実際の車両を使った訓練(一ノ関地区、青森地区)を実施します。設備関係では、停電を想定した復旧訓練、レール破損による復旧訓練、踏切鳴動時の対応訓練、架線故障による架線支持材復旧訓練及び土木構造物の点検訓練を実施します。
秋田	秋田支社管内全般	9月1日(火) 7:00～11:00	約600人	秋田県仙北市付近を震源域とした最大震度7の地震が発生することを想定し、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練、情報伝達訓練、対策本部設置・運営訓練並びに災害用備蓄品・初動対応マニュアルの確認等を実施します。
新潟	新潟支社管内全般	9月1日(火) 7:00～15:00	約550人	新潟支社管内の各地を震源とするM7.0の地震発生を想定し、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練、対策本部設置・運営訓練、情報伝達訓練及び駅間に停車した列車への対応訓練を実施します。
	酒田、長岡、 新津、新潟の 各地区	9月1日(火) 7:00～12:00	約250人	駅ではお客さまの避難誘導訓練を実施すると共に、駅間で停車した列車で負傷したお客さまがいることを想定し、消防署と協力した列車からのお客さま救済訓練を実施します。また駅から支社対策本部へのタブレット端末等による情報伝達訓練及び画像転送訓練を実施します。
長野	長野支社管内全般	9月1日(火) 7:00～11:00	約350人	長野支社管内各地で最大震度7の地震発生を想定し、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練、限られた要員での対策本部設置訓練、情報伝達訓練並びにエレベーターからの救出訓練等の初動対応に重点を置いた訓練を実施します。また、長野県危機管理部と情報を共有するために、数名の情報収集要員を県対策本部に派遣します。
	松本、長野、小海、 上諏訪、信濃大町の 各地区	9月1日(火) 7:00～12:00	約250人	情報連絡拠点を設置し、支社対策本部、情報連絡拠点及び被災した駅との衛星携帯電話等を使用した情報伝達訓練、非常参集者を被災した駅へ応援派遣する訓練、お客さま避難誘導訓練、救助・救命訓練並びに初期消火訓練等を実施します。また、被災箇所からの画像転送訓練を実施します。